

現地レポート／ 金 慧琳（先導科学研究科 生命体科学専攻）

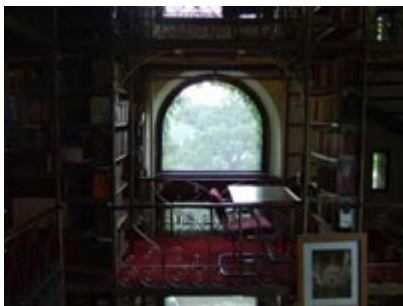
派遣先：アメリカ

派遣先機関名：Cornell University（コーネル大学）

派遣期間：2007年7月2日～2007年9月16日

2007年9月3日報告分

授業・研究の進捗状況



- A. D. WhiteHall -

私は投稿論文と学位論文に書くための解析を行っていて、Prof. Clark と discussion しながら進めています。急に Macintosh が解析に必要なのですが相談したらすぐ使えるように配慮して頂きました。

コーネル大学は2週間前から新学期が始まり、学部生も大学院生も新入生が入って来ました。新学期迎い、学内では毎日あらゆるイベントが行われていて楽しそうな空気です。夏休み期間中に静かだったキャンパスが今はどこも人が溢れています。私の通う研究室も先週 lab meeting がありましてメンバーの自己紹介と新年度に行う研究の紹介がありましたが、とても様々な研究が一つの研究室で行われていて学生の研究課題もとても高いレベルで感心しました。やはり色々な意味でここに来て世界が広がったと思います。

生活関連状況



- A. D. WhiteHall -

ここでの生活も後十日ぐらいで終わります。私は運良く大学の経営するアパートに入ることが出来たのでとても快適な生活環境で過ごすことができました。

Housemate も皆大学に出る人達だったし色んな国の人と話すことができて楽しい経験でした。若干、町には離れていて大学も遠い方でしたが、大学の近くの学生が多く住む安めのアパートの環境よりはずっと安全で静かであることを分かりました。殆どの学生アパートは男女共有でbath roomなどもシェアします。女性が一人で行く場合、住まいは事前に細かくチェックしないと着いてから驚く場合も多いそうです。私は短い期間でしたがこの韓国人留学生の友達も出来て日本ではできなかった母国語のおしゃべりも満喫しました。その代わりになぜか日本人には全く会えなかったのでそろそろ日本語能力が低下したのかもしれませんが。肝心の英語能力は残念ながらちっとも伸びていません。英語を積極的に使う機会があまりなかったことが原因だと思います。最初は自分の英語能力に絶望するばかりで一語も口を利くのが難しかったのですが今は知らん顔して下手な英語を披露するようになりました。それでも通じない場合は、目で意志を伝えるとなんとかになります。

その他報告すべき事項

特にありません。

2007年8月4日報告分

授業・研究の進捗状況



- コーネル大学構内 -

コーネル大学のProf. Andrew Clarkの研究室にスペース、そしてネットワークにアクセスできるNetIDをもらうことが出来た私はこの1ヶ月間研究に関しては全く問題のない状況です。ここに来てからは主に投稿論文の作業を行っていますがProf. Clarkあるいは研究室のメンバーともディスカッションすることができて、論文についても細かいコメントをいただき、とても役に立ちました。そしてコーネル大学図書館の膨大さには感動するばかりであり、論文の参考文献にも利用しています。ただ、残念なことは夏休み期間なのでセミナーなどの日程が殆どないことと、研究科のFaculty達が様々な理由で席にいない、会えないことです。しかしそれはこの期間に海外派遣に行く以上は仕方がないことだと思います。ちなみに研究環境のことですが、研究室そのものは総研大と代わりがたいのですが、もしくは総研大の方が良いかもしれませんが、大学のキャンパス内には自由に使える様々なスペースがとても多いのです。キャンパス内なら外でもどこでも

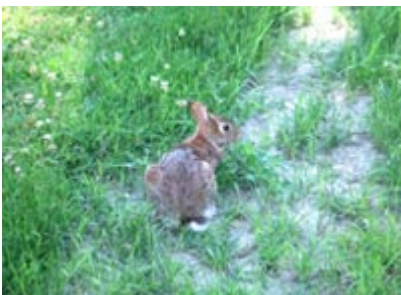
無線ランが使えるので私の場合はパソコンさえ持っていればなんの不自由なくどこでも好きな場所で仕事ができます。どんな障害があっても自分の机以外では仕事の出来ない葉山にいる身としては第一うらやましい所です。

生活関連状況

大学の Temporary Staff としての身分を持っている私は ID Card を発行してもらったので平日は市内のバスがフリーで乗れます。これは移動範囲の広いこの生活にはかなり助かっています。面白いことは特にバスに乗ると人の声がよく聞こえるので分かりますが、自分はアメリカにいるはずなのに英語よりは中国語あるいは英語圏ではない何処かの国の言葉が多く聞こえることです。さすが多国籍のアメリカであり、外国人の多いコーネル大学 (Minority の比率が 30%) ならではの風景だと思います。大学のある Ithaca エリアは NY 州とは言い、北アメリカ典型的な農家の多い田舎で都市の匂いは 0% の所です。サマータイムで午後 5 時前には仕事を終えて家に帰るのがこの人の生活で、つまり午後 5 時以降になるとスーパーとレストラン以外は何処も閉まります。何より大学の建物に入れなくなります。しかし日が暮れるのは 9 時頃なので最初は長い午後の時間に戸惑いましたが慣れると段々時間の過ごし方も分かるようになります。

2007 年 7 月 3 日報告分

授業・研究の進捗状況



- コーネル大学構内 -

大学内で滞在する外国人の登録と臨時的な研究員としてポジションをもらう手続きを行っています。その後は研究のためにスペースやパソコンなどの環境を用意しています。環境が整えたらすぐ研究を進めたいと思います。

生活関連状況

キャンパスと徒歩で 15 分ぐらい離れたところのアパートから大学に通っています。アパートは生活にはあまり不便のない環境で自然が近くてかなり快適です。ただ、町からは相当離れています。バスもあまりなく歩くと良い運動になります。大学の ID をもらうとバスがフリーで乗れると聞いています。アパートから最も近いスーパーが 15 分ほど歩く距離にありますがかなり揃えている所だったので大きな不便は無いと思います。治安面では、スーパーや路上で何回か声をかけられたぐらいで、まだ危険ということは感じておりません。殆どの人は親切です。